



集落支援員広報

かわら版・いわしろ

かわら版のマスコットひょうたんでーす

NO. 8

発行者：岩代地域集落支援員

連絡先：岩代支所地域振興課

電話：55-2111

発行日：平成30年10月26日

ザル菊が見頃です！ ～日山寿会「ザル菊の郷」～



田沢地域の国道459号線沿いの畑や花壇等4箇所（町地区、大森地区、山口地区、狼倉地区）に整備された「ザル菊の郷」が見頃を迎え、鮮やかな黄色や赤の花が美しいコントラストを見せています。

「ザル菊の郷」は、田沢地域の荒地や遊休農地を少しでも減らし、住民の憩いの場を作りたいと、日山寿会が「市民との協働によるまちづくり補助金」を活用して整備してきたもので、土作りから苗植え、追肥、消毒、除草等、多くの作業を会員が力を合わせて行ってきました。10月23日には会員による「菊見会」を開催

し、春先から作業にあたってきた労苦をねぎらい、会員同士の親睦と交流を深めました。日山寿会の菅野良一会長は「今年は猛暑に加え、台風も多かったので心配していましたが、無事に咲いてくれてほっとしています。たくさんの人に足を運んでいただき、菊を見て和んでいただけたら嬉しいです。」と愛おしそうに花を見つめながら話されました。



「菊見会」での日山寿会の皆さん

菊の傍には看板が設置されていますので、看板を目印に「ザル菊の郷」を訪れてみてください。

岩代地域内のザル菊栽培地の紹介



西勝田字杉内地内



西勝田字太池田地内



東新殿字太夫内地内



東新殿字大林内地内



東新殿字大林内地内



上太田字上代積地内



上太田字広瀬地内



杉沢字口中内地内

田沢地域以外でも栽培されています。ぜひ皆さんも足を運んでみてはいかがでしょうか。

自分達のできることから、こつこつとはじめよう！

自治会定例会訪問から

過日、毎月定例会を開催している上太田代積自治会にお邪魔いたしました。開催日や時間等については、季節や都合により変えられておられるようです。

また、その月に議題等が少なくとも自治会の情報交換の場として開催しているとのことでした。

以前は、多くの自治会でも定例会が開催されていましたが、近年では岩代地域でも数少なくなってきました。残念なことに、集落のふれ合いが減っているという事ですね。今回は、代積自治会長さんにご協力いただき「なぜ集落で話し合いが必要なのか」を皆さんに感じ取っていただくために集落支援員が定例会に参加させていただきました。



話し合いの前段階として、現在の集落の状況・自分のおかれている生活環境、5年10年後を見据えたシミュレーションをして頂くようお願いいたしました。

シミュレーションをすることで、自分達の住む集落を振り返ったり、再認識していただく事を目的とし、シミュレーションを基に話し合いの場が持てるようになったらと思います。(シミュレーション内容はこちらでいくつか提示いたしました。)

最後に、自治会長さんから「定例会は同じメンバーの集まりになっているので、いろいろな立場の人達を交えて一度話し合うことも必要である」ことが提案されました。

「どうせだめだから」「何にもない」といった諦めムードから、若い人達にも「ここに住んでいて良かった」「ずっとここに住みたい」と思えるような集落になって行くことを期待したいと思います。

昨年度は初森3自治会に取り組みいただきました。皆さんの自治会もぜひ取り組まれてはいかがでしょうか。

頑張っている人紹介

～～ Uターンで 田舎暮らしを楽しんでいます！ 佐藤 実さん（西勝田西部） ～～

西勝田字田中地区にお住まいの佐藤実さんは、平成23年に千葉県から移住し、田舎暮らしを楽しみながら行政委員として地域のために貢献されています。

移住した理由は、定年退職後、自然の中で蕎麦や野菜・花等を育て、趣味の陶芸を楽しみながらのんびり暮らしたいという思いからでした。住み慣れた千葉県等、たくさんの候補地の中から佐藤さんが選んだのは生まれ育った岩代地域でした。養蚕の衰退で荒れていた桑畑や原野を自力で整地し、建てられた住宅からは吾妻・安達太良連邦や羽山、日山等を望むことができ、四季折々に美術館さながらの眺めを楽しむことができます。

自宅の隣には工房を構え、趣味の陶芸を楽しみながら週に一度（毎週月曜日）は教室も開催しています。

佐藤さんが陶芸を始めたきっかけは30歳頃、公民館で行われた陶芸教室に参加した際、土に触れると心が安定し陶器の温もりに魅せられたことだといいます。今後は『尚創庵』（上長折）を活用した教室も開催し、一人でも多くの人に陶芸の魅力を伝えていきたいと意気込みを語ってくれました。佐藤さんは、陶芸の他にも蕎麦打ちや登山等たくさんの趣味を持ち、地域の人々との輪を大切に田舎暮らしを楽しんでいます。佐藤さんのように、一度岩代地域を離れた方が、やはりこの地が一番という思いでUターンしてきてくださることは嬉しいですね。



陶芸教室での佐藤さん